

ぜん きょう じ
善巧寺報

3 月号

月刊●善巧寺報

〒344-0032 埼玉県春日部市備後東4丁目1番17号
TEL 048(734)7660
榎本明覚

▼二〇一九年三月一日▲



出典「ご恩うれしや」妙好人「石見の才市」顕彰会版

かぜをひけばせきがでる
さいちがごほうぎのかぜをひいた
ねんぶつのせきがでるでる

さいち

島根県 安楽寺

ゲイトウェイ 妙好人

～ 石見の才市 ～

定例法座

毎月 十一日

◎三月十一日(月)

午後二時～四時

於 善巧寺 本堂

「ベストな人生」

『日経ビジネス』2019年2月18

日号で特集されていたのが「どこにある？ベストな人生」というものでした。右肩上がり前提の経済活動が機能しなくなり、働き方改革が各界から叫ばれている昨今。仕事・家庭・生き方について振り返って整理してみなければならぬ時節が来ているのかもかもしれません。果たして納得できる人生をどうすれば歩めるのか。「人間の究極の幸せは、①愛されること②褒められること③役立つこと④必要にされること」という日本理化学工業の大山会長とのインタビューを通し、浄土真宗にもその叡智があることを伺って参りましょう。

みほとけ会月例会

＊ポジティブコキよう

Project＊

◎四月七日(日)午後一時半～

二時半

於 Café Luana 二階

(東急世田谷線宮の坂駅下車徒歩1分)

会費 五〇〇円

『妙好人のことば』

人にはそれぞれの経験に応じて作り上げた価値観があります。世間の価値観を基準としそれに合わせて生きようとすれば、当然生きづらい世の中ということになってしまいます。ガタピシ(我他彼此)とぶつかりあい、怒り嫉み合う、そんな世間において仏法を基礎として生き抜かれた先人の方々がいらっしやいました。今回はその言動に触れ、価値観の殻を破って肩の荷を降ろしてみしましょう。

※例会は毎月第一日曜日です

春季彼岸会

◎三月二十一日(春分の日)

午後二時～三時 於 本堂

日程

午後二時～ 法要

午後二時半～ 法話

「違いを知って違いを超える」

午後二時五〇分 茶話会

法話終了後、お彼岸団子と施本を配布いたします。なお午後三時十五分～五時まで「お寺の春期講習」『八宗綱要』を読む⑥を主催いたします。こちらも併せてご参加下さい。今回はいよいよ「華嚴宗」に入っていきます。華嚴の滝などでお耳にしたことがあるはず！※華嚴宗とは、杜順(557～641)を開祖とする『華嚴経』を中心とする宗旨です。賢首大師法蔵(644～712)が『華嚴探玄記』『華嚴五教章』を著し大成しました。日本へは東大寺に伝えられます。奈良の大仏(毘盧遮那仏)は華嚴の中心となる仏さまです。

◆◆春日部だより◆◆

◎朝晩は冷え込みますが、だんだんと春を思わせる陽気になってきました。コートで縮こまっていた体も少し上向きになって、新たな事を始めてみたい気持ちになっていきます。

◎住職はふたつきに一回くらいですが、広尾の都立中央図書館で視覚障がいの方に本を読むという「音訳者」ボランティアをしています。普段手に取らないような様々な本を読む経験ともなり有難く思っています。今回、定例法座で取り上げる『日経ビジネス』もボランティアで読んだものです。人間の苦悩はお釈迦様の時代とそう変わらないものですが、表現のしかたなど時代にあわせた工夫が必要だと痛感しております。

◎浄土真宗本願寺派(お西)では、重点プロジェクトの貧困対策として「子どもたちの笑顔のために募金」を開設しました。国内では子ども食堂や学習支援、児童養護施設で暮らす子どもたちのために、海外では本願寺派関係機関と連携して支援活動をいたします。ご協力よろしく願っています。

◎例年、永代経法要・報恩講にご出仕いただいている宝光寺 西川先生より、「北海道胆振東部地震災害義援金」が寄せられました。早速、北海道教区災害対策委員会に送金させて頂きました。ご協力ありがとうございました。

子どもたちの 笑顔のために

あなたの思い
貧困で苦しむ
国内外の子どもたちに届きます

Dān for World Peace

